

# 辺地共聴施設の現状調査（結果概要）

---

令和6年5月16日



株式会社 *NHK*テクノロジーズ



# 調査概要

- 共聴施設調査では、全国の辺地共聴施設や組合の現状を調査し実態を把握するとともに、ブロードバンド等による放送の代替を円滑に実施していく上で望ましいと考えられる取組等を整理する

## 調査概要

### 辺地共聴施設の現状調査

目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設や組合の実態の把握</li><li>・ 共聴施設が抱える課題の集約・整理</li><li>・ ブロードバンド等による放送の代替を円滑に実施していく上での課題や望ましいと考えられる取組を整理</li></ul>
調査対象	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自主辺地共聴施設 約8,600施設</li></ul> ※自主辺地共聴施設の状況に関するデータ精査を実施し対象を決定
調査期間	令和5年8月～12月
調査方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 郵送等によるアンケート調査</li></ul>
実施体制	総務省、NHKテクノロジーズ及び情報通信総合研究所

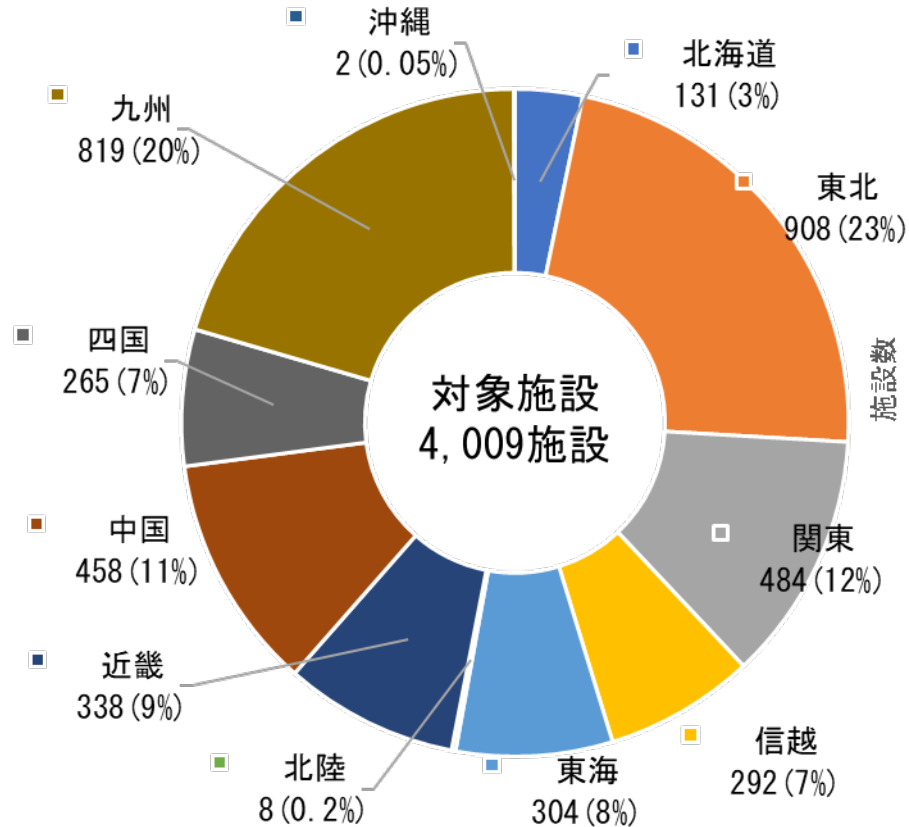
# 調査項目

カテゴリ	No.	質問事項
共聴組合の組織運営及び設備利用状況 (施設毎に調査)	1	組合名、設備（空中線）所在
	2	組合加入世帯数
	3	設備所有主体
	4	伝送路構成
	5	ネットワーク伝送長
	6	組合の経営状況
	7	直近の大規模改修時期
	8	設備更新意向
	9	CATV移行希望
	10	直近の災害被災に伴う視聴困難
	11	現在の機能障害
	12	地域ならではの事情

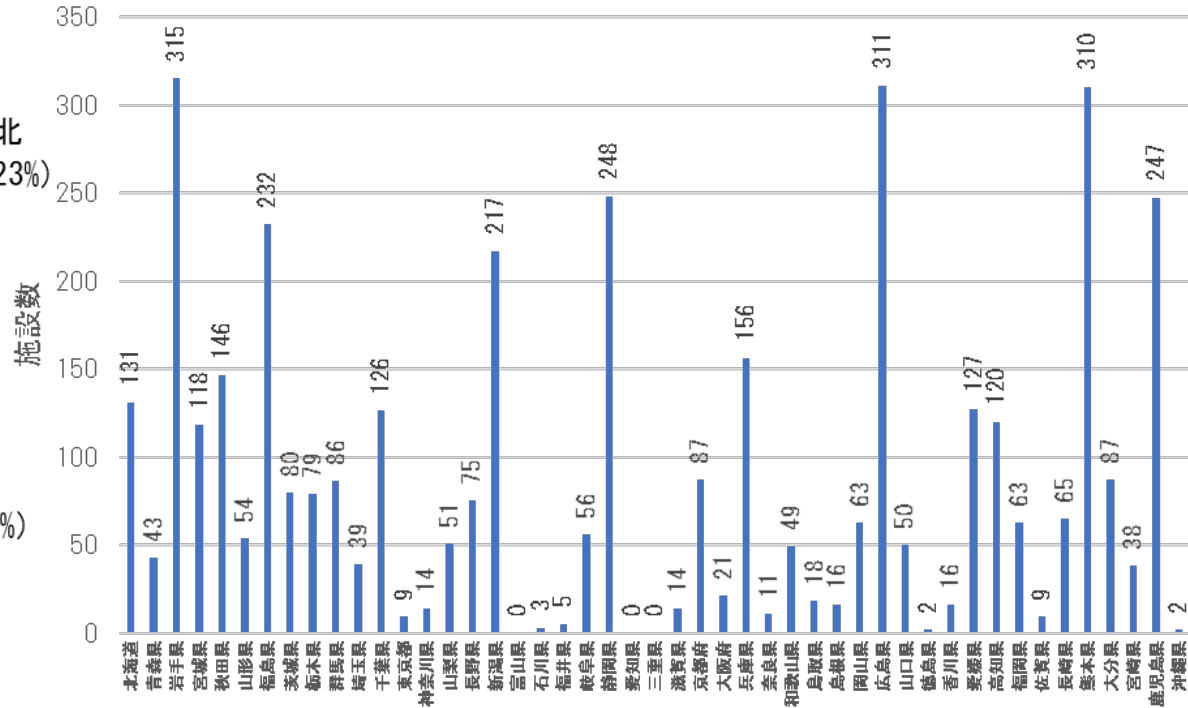
# 全国アンケート結果（１）共聴施設数

- [質問 1] 共聴組合名（共聴施設名）及び施設設置場所（住所）をご確認願います。

回答のあった共聴施設数（総合通信局別）



回答のあった都道府県別共聴施設数

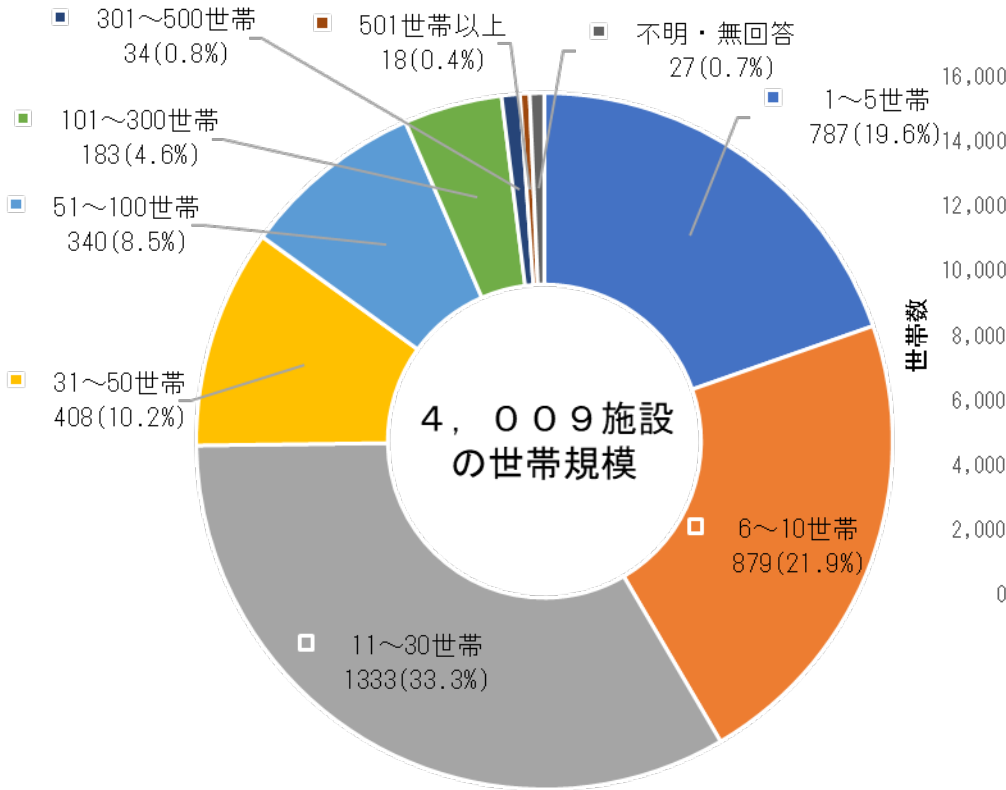


- 都道府県によって回答数にばらつきが見られた。
- 岩手県、広島県及び熊本県からそれぞれ300件を超える有効な回答があった。

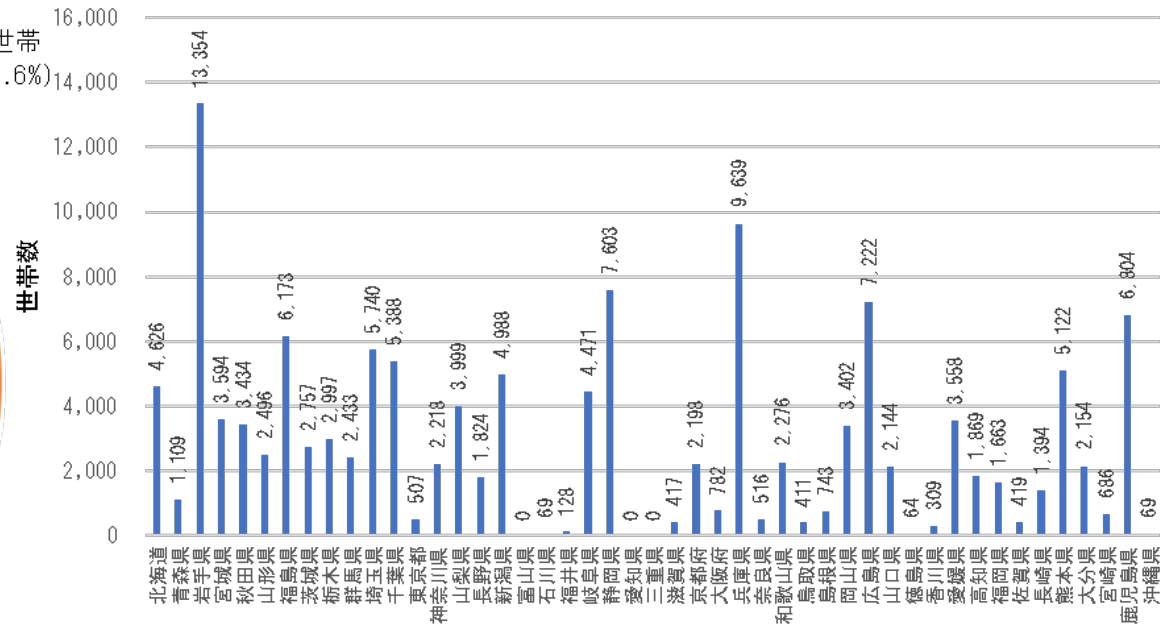
# 全国アンケート結果（２）共聴組合の加入世帯数

● [質問２] 組合員数（世帯数）をご記入願います。

## 共聴施設における世帯規模分布



## 都道府県別 組合加入総世帯数

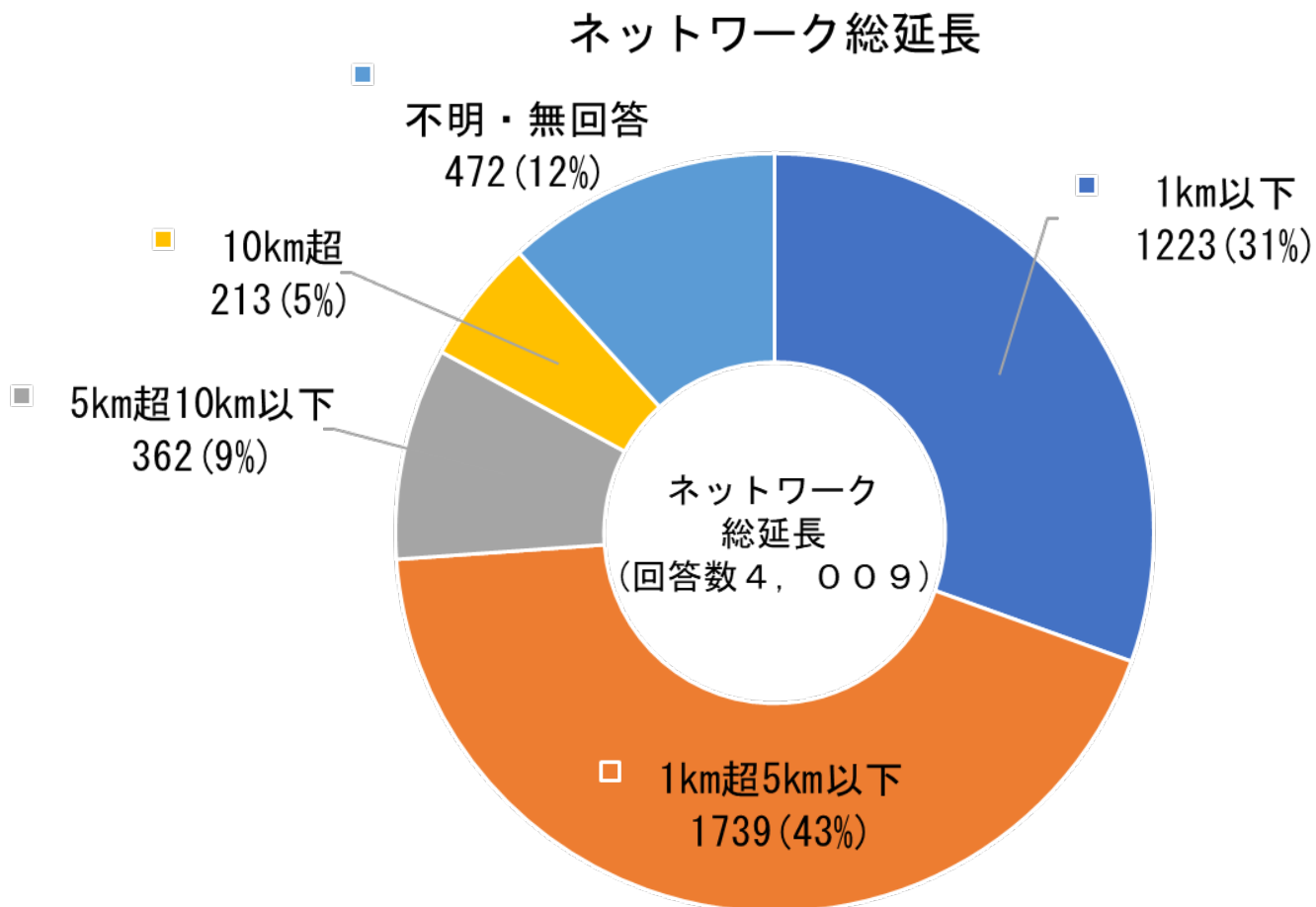


組合加入総世帯数 133,769世帯（3,982施設）

- 自主辺地共聴施設に加入している世帯数は、30世帯以下の小数世帯施設が約75%を占めている。
- 3,982施設の単純平均世帯数は34.4世帯（5世帯以下が19.6%、10世帯以下が41.5%、30世帯以下が74.8%）。

## 全国アンケート結果（3） 共聴施設のネットワーク総延長距離

- [質問3] ネットワーク総延長（km）をご記入願います。



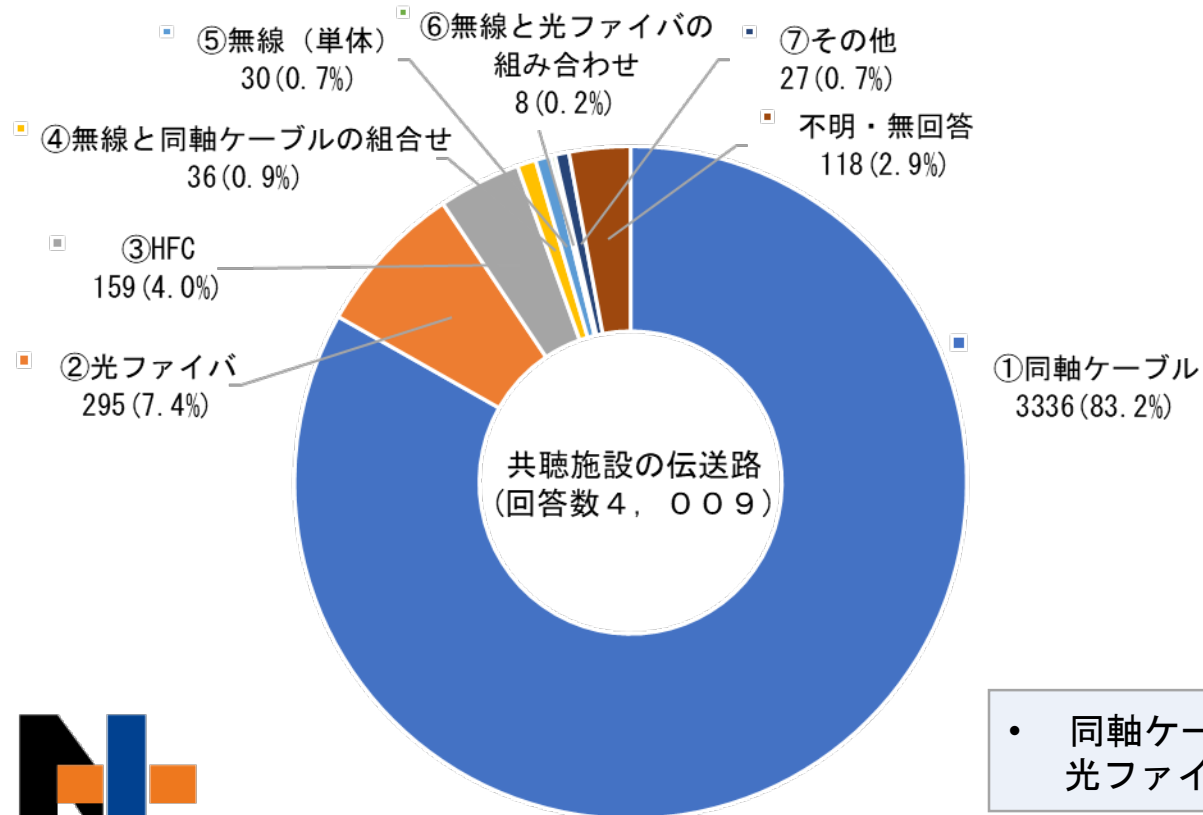
- 自主辺地共聴施設のネットワーク総延長は、5km以下の施設が約74%を占めており、そのうち1km以下の施設が31%と比較的短い距離の施設が多く運用されていることがわかる。
- 一方、10kmを超える施設も5%程度存在している。

## 全国アンケート結果（４） 共聴施設の伝送路構成

- [質問４] 共聴施設の伝送路構成について当てはまるものを、以下の選択肢から１つチェックを入れてご回答願います。

選択肢：①同軸ケーブル、②光ファイバ、③HFC（同軸ケーブルと光ファイバの組合せ）、  
④無線※<sup>1</sup>と同軸ケーブルの組合せ、⑤無線※<sup>1</sup>（単体）、⑥無線※<sup>1</sup>と光ファイバの組合せ、⑦その他  
※<sup>1</sup> 「無線」とは、地デジ送信用の小型電波送信設備で各世帯はアンテナでテレビ受信する。  
「ギャップフィルター」とも言われている)

### 共聴施設の伝送路構成



- 同軸ケーブルの伝送路構成が、83.2%と最も多く、光ファイバによる構成が7.4%となっている。

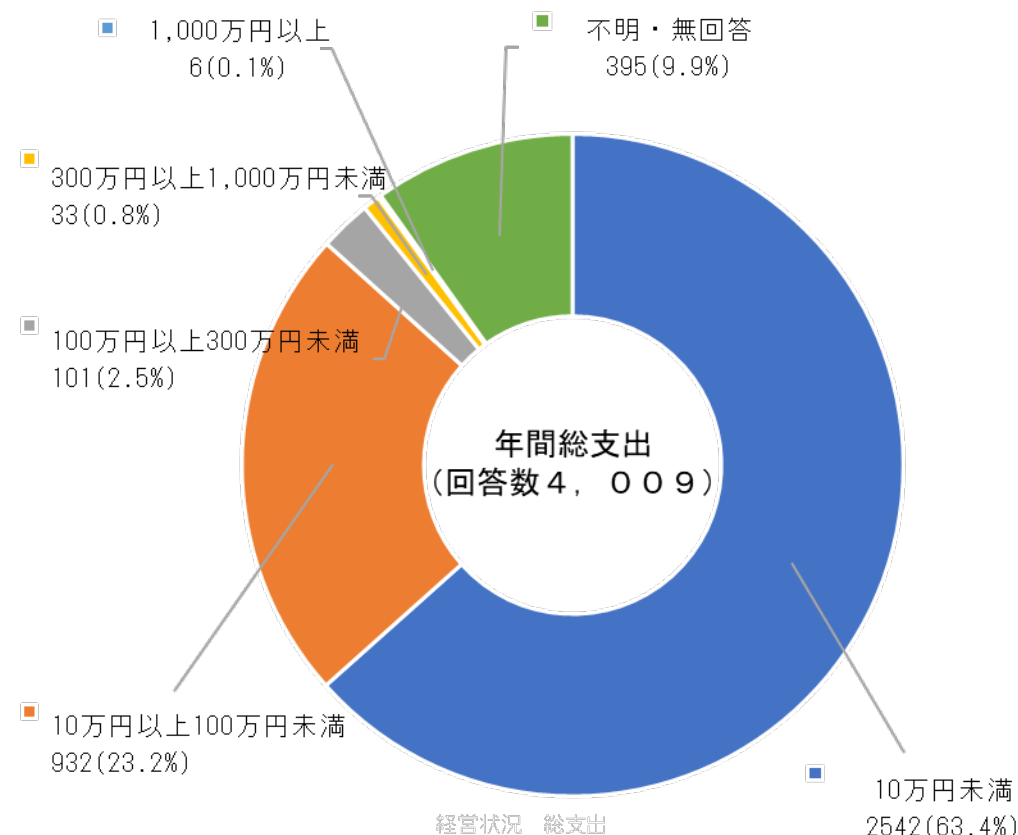
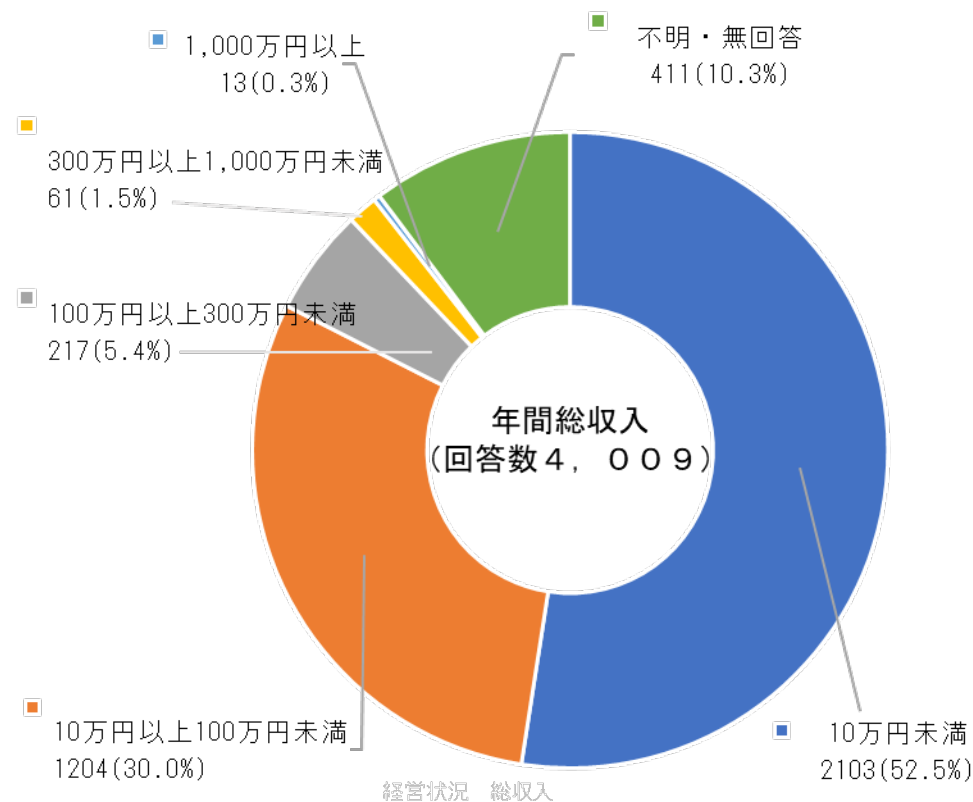
# 全国アンケート結果（５）共聴組合における年間の収入・支出

● [質問５] 共聴組合の経営状況を項目に沿ってご記入願います。

① 1年間の総収入、② 1年間の総支出、③ 組合費の徴収形態、④ 組合費の積立状況

## ① 1年間の総収入額（例えば令和４年度）

## ② 1年間の総支出額



● 自主辺地共聴施設の収支は、年間収入10万円未満が52.5%と最も多く、年間支出も10万円未満が63.4%と最も多い。

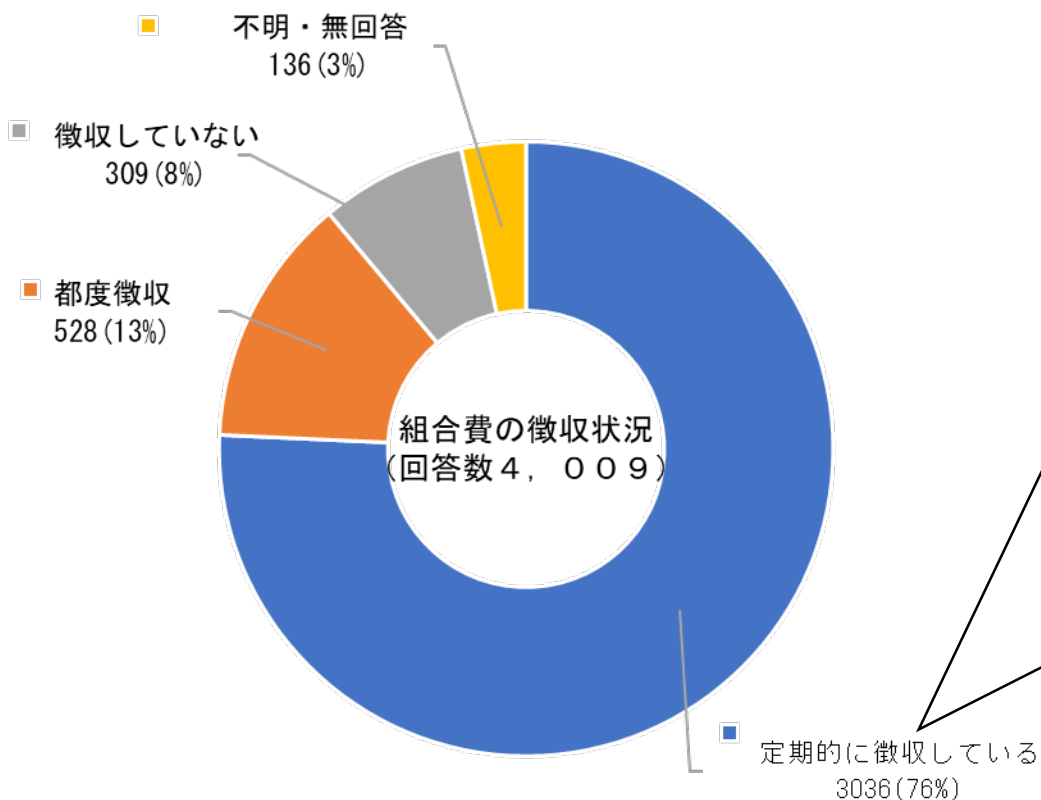


# 全国アンケート結果（6）共聴組合における組合費の徴収形態

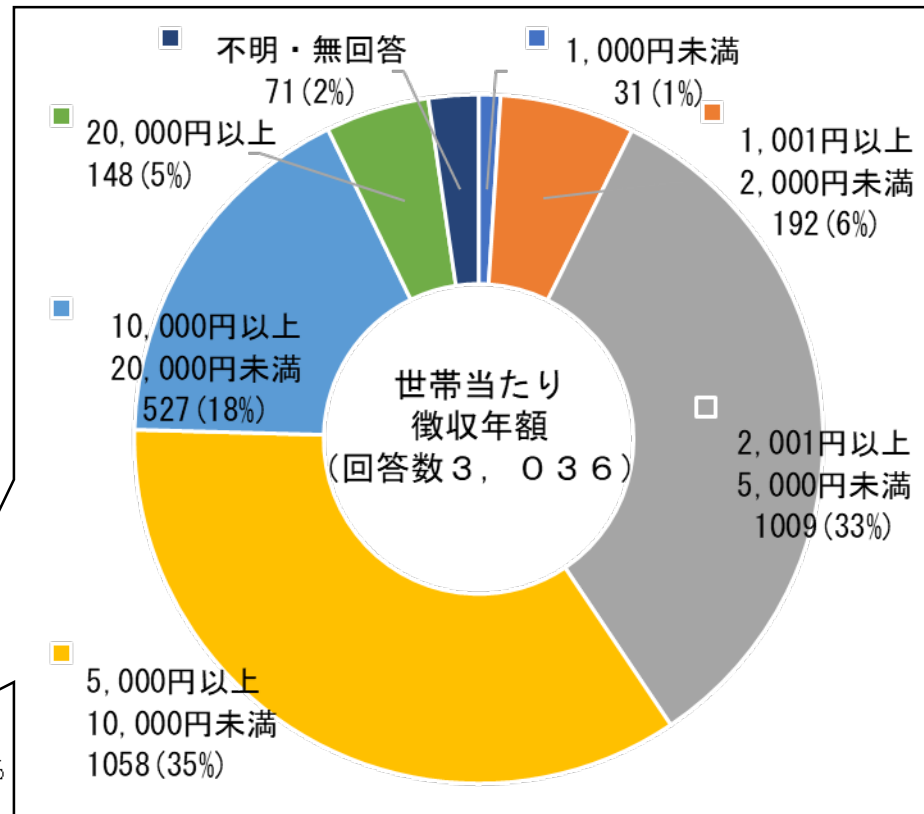
● [質問5] 共聴組合の経営状況を項目に沿ってご記入願います。

- ① 1年間の総収入、② 1年間の総支出、③ 組合費の徴収形態、④ 組合費の積立状況

## ③ 組合費の徴収形態



## ③' 徴収している世帯当たりの年間組合費額



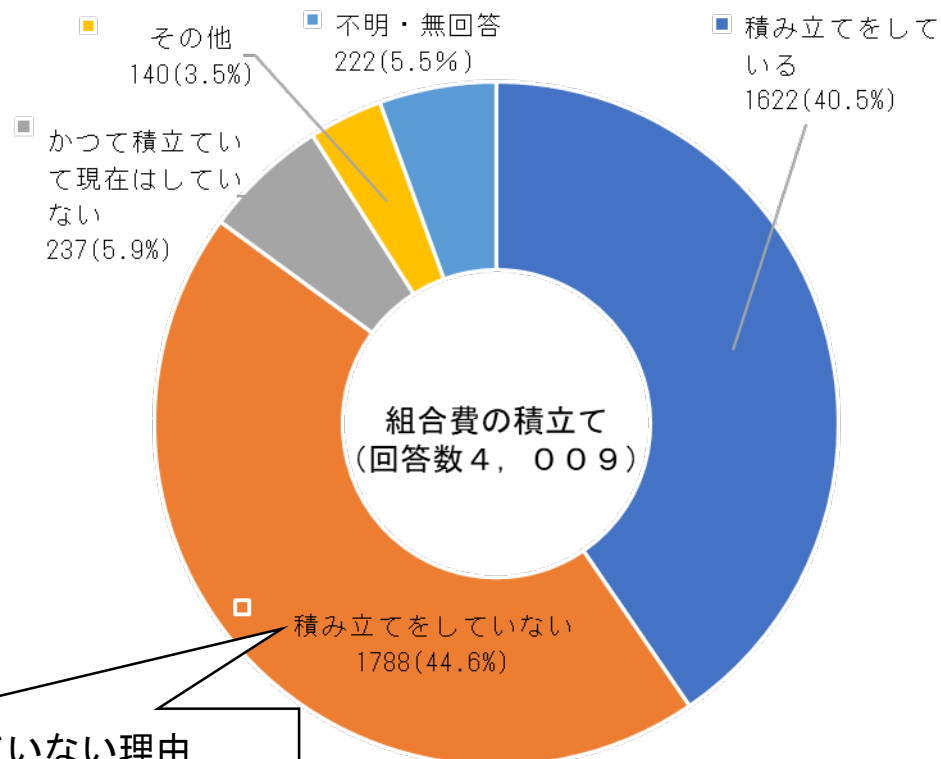
- 組合費は、定期的徴収しているが76%を占めて最も多く、都度徴収と合わせると約9割の施設が維持運営費を何らかの手段で徴収している。
- 世帯当たりの徴収年額は、有効回答の単純平均で8,336円/年額(月額換算約700円)。

# 全国アンケート結果（7）共聴組合における組合費の積立状況

● [質問5] 共聴組合の経営状況を項目に沿ってご記入願います。

① 1年間の総収入、② 1年間の総支出、③ 組合費の徴収形態、④ 組合費の積立状況

## ④ 施設更新のための組合費の積立状況



### 定期的に積立てが行われていない理由

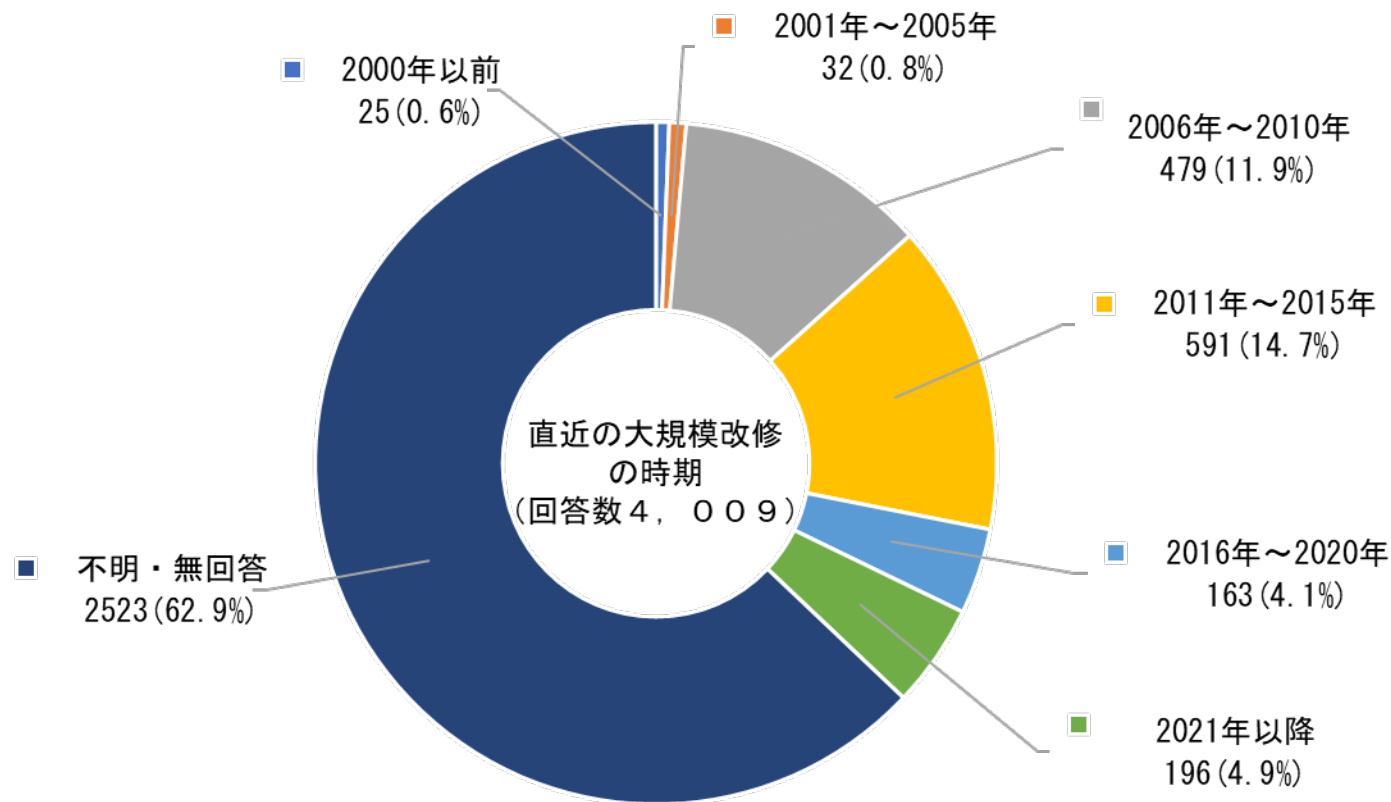
- 積立は負担が大きいため
- 改修計画や機器故障がないため
- 施設の廃止又は組合解散が予定されているため
- 繰越金(余剰金)があるため

- 積立てを行っている組合は全体の約4割であり、5割強は積立てを行っていない。

## 全国アンケート結果（８） 共聴施設の大規模な改修時期

### ● [質問 6] 直近の大規模改修※<sup>2</sup>の時期はいつでしたか？

※<sup>2</sup> 大規模改修とは、日々の故障修理ではなく地上デジタル放送への切替えに伴う設備整備、伝送路の全面的な張替え（更新）といった整備を指します

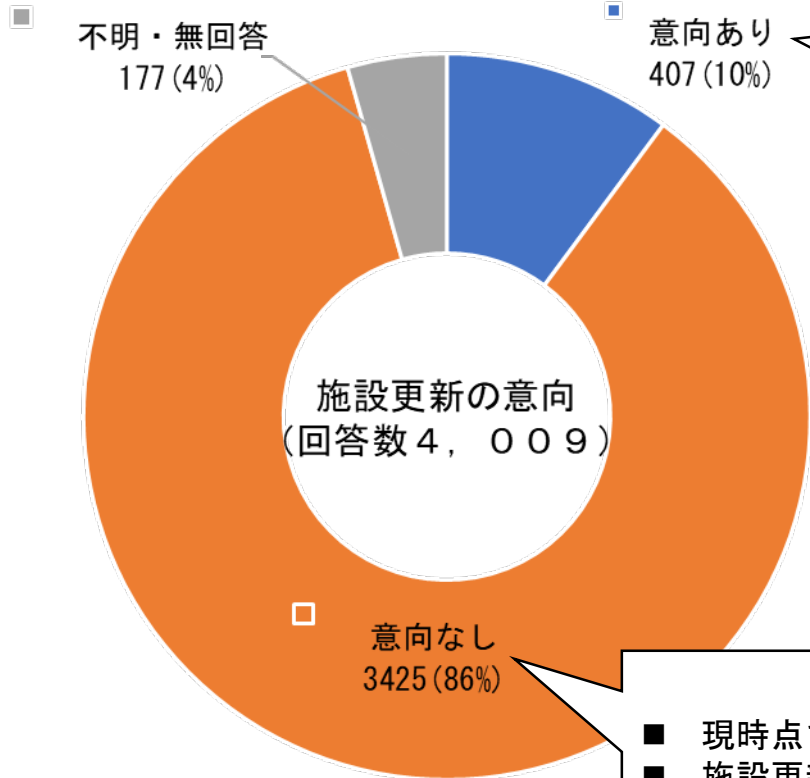


- 大規模改修の時期は、不明・無回答が62.9%と最も多く、古い記録が残されていないためと推測される。
- アナログ放送が終了した2011年から2021年以降に大規模改修した施設の累計が23.7%、それ以外76.3%の施設は、デジタル化に伴う最小限の改修以外、大規模な設備改修・更新等を行われていない可能性が高いと推測される。

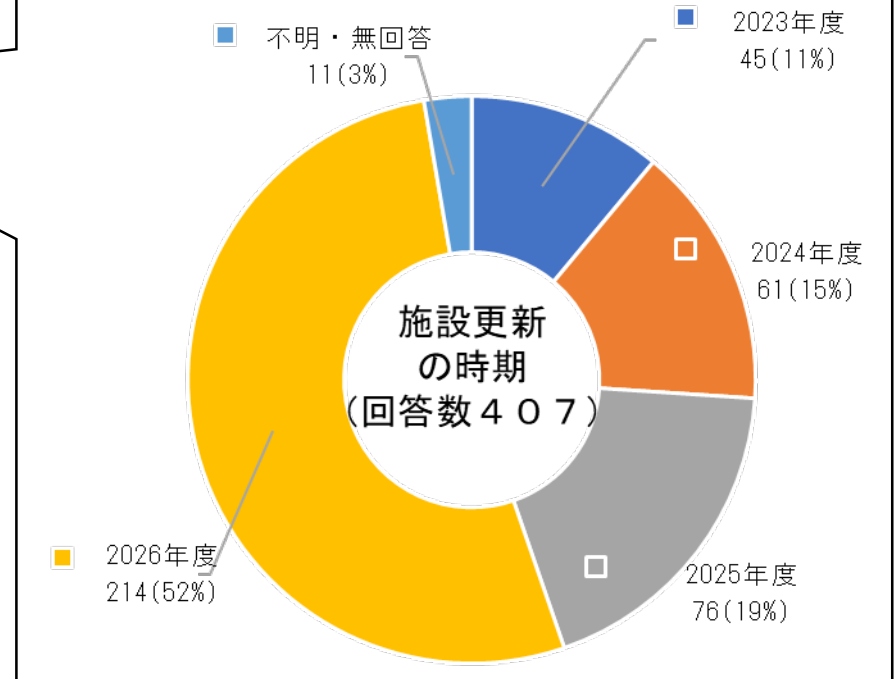
# 全国アンケート結果（9） 共聴施設の更新意向

● [質問7] 今後3年以内を目処に施設更新（伝送路の全面的な更新）の意向（予定）がありますか？

### 施設更新の意向



### 施設更新の時期



### 施設更新の意向なしの理由

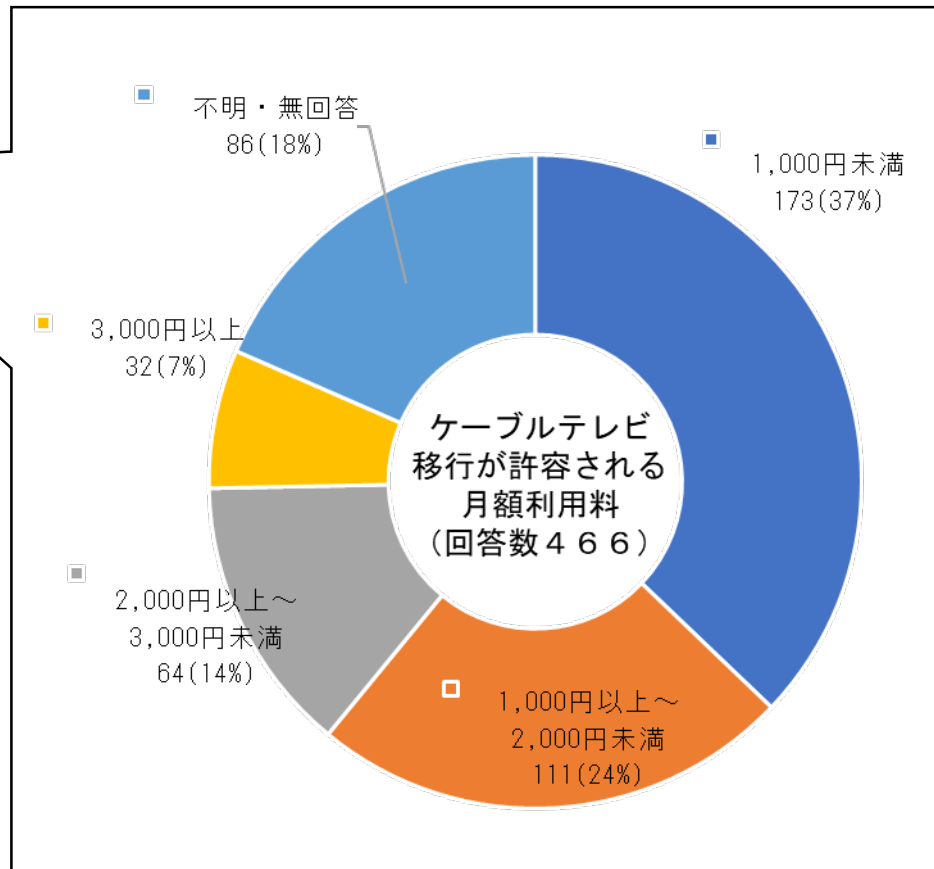
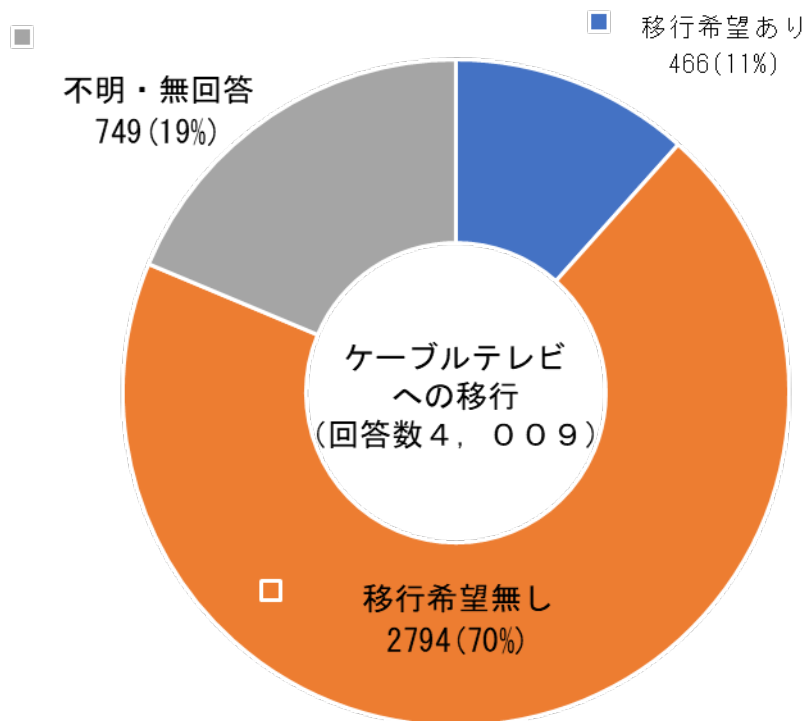
- 現時点ではテレビ受信が問題なくできているため、施設更新は先送りにしているため
- 施設更新の必要性は感じているが、具体的な検討や計画ができていないため
- 組合員数の減少等により、施設の現状維持もままならないため
- 施設更新は高額のコストがかかることから資金の目途が立たないため

● 今後3年以内という期限を設けて施設更新の意向を確認したところ、意向ありと回答した施設は約1割であった。

# 全国アンケート結果（10） ケーブルテレビへの移行希望

- [質問 8] 共聴施設によるテレビ受信に変えて、ケーブルテレビ受信に移行する希望がありますか？

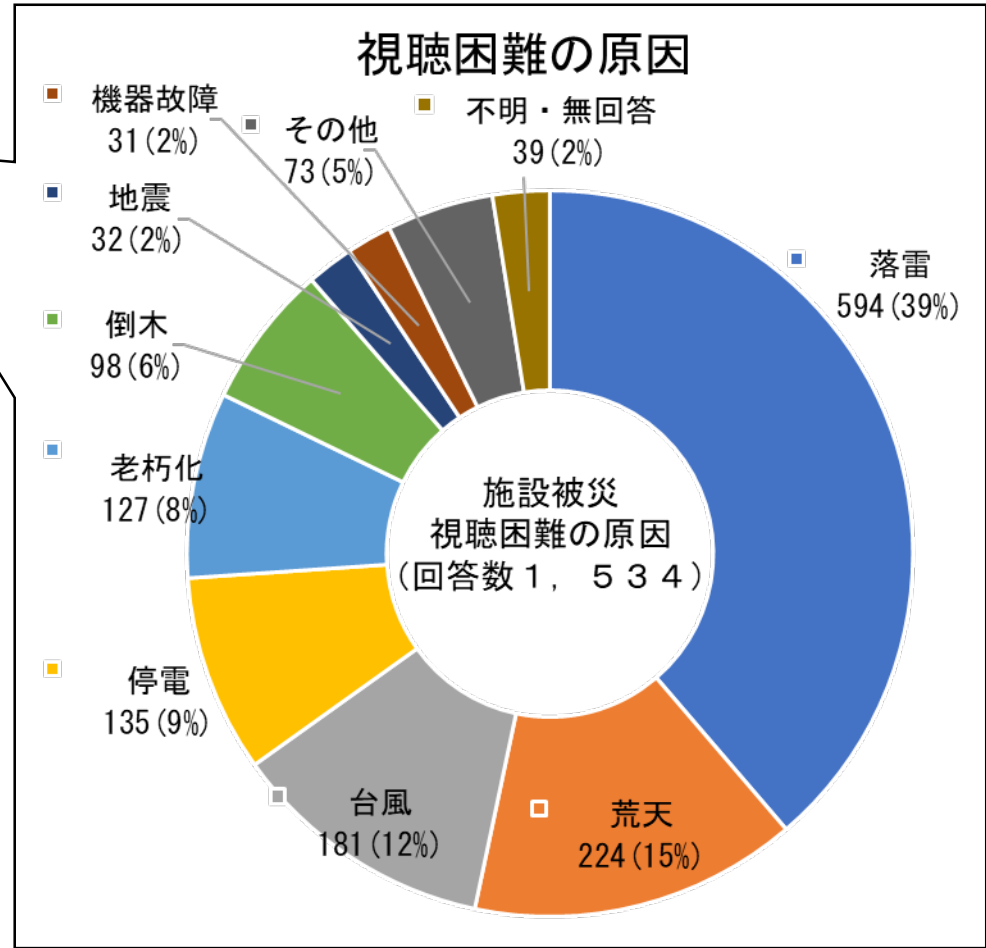
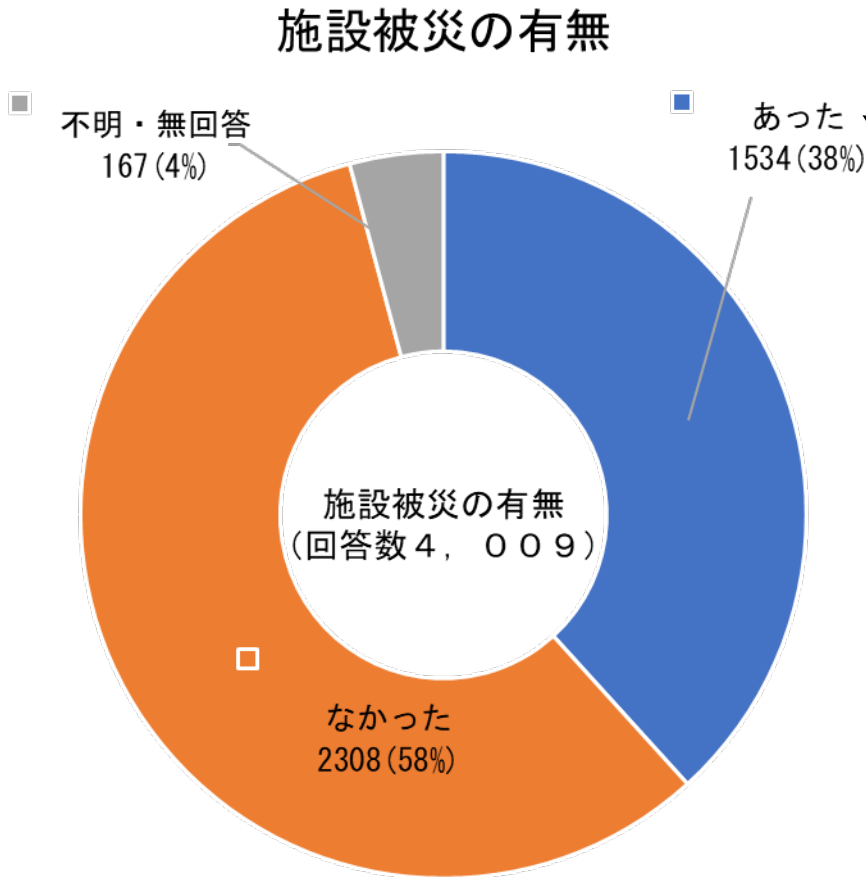
## ケーブルテレビへの移行希望



- ケーブルテレビへの移行希望は全施設中 11%であった。移行希望のあった組合に対して確認したところ、月額利用料 1,000円未満とする割合は 37%、1,000円以上 2,000円未満とする割合は 24%であった。
- ケーブルテレビへの移行を希望しない割合は 70%を占めている。その理由として、『現時点ではテレビ受信が問題なくできている』、『ケーブルテレビ移行に伴う費用負担増を懸念している』といったコメントが認められた。

# 全国アンケート結果（11） 共聴施設の被災状況

● [質問9] 過去において台風等災害で被災しテレビ視聴ができないことがありましたか？

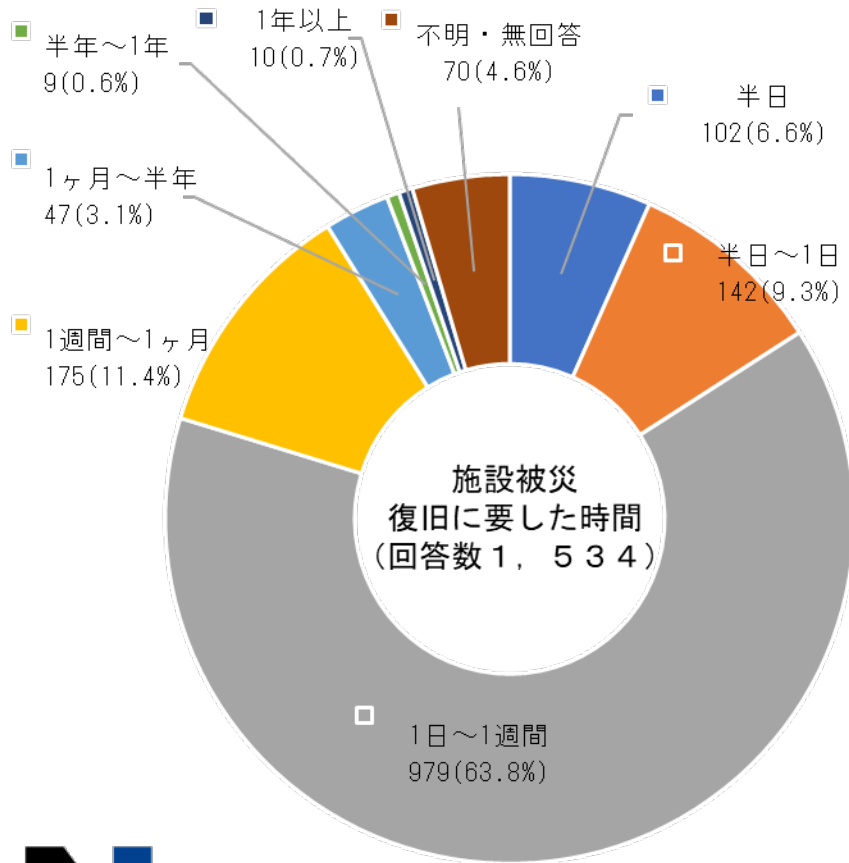


● 台風等の自然災害でテレビ視聴ができなかった施設は全体の38%で、その原因は落雷が最も多く39%を占めている。続いて荒天や台風の影響が多かった外的要因となる老朽化や機器故障は全体の10%程度であった。

# 全国アンケート結果（12） 共聴施設の被災後の復旧時間

- [質問10] 過去において台風等災害で被災しテレビ視聴ができないことがありましたか？  
復旧（視聴可能な状態に回復）までに要した期間は？

## 復旧に要した時間



## 復旧時間が長期となった主な理由

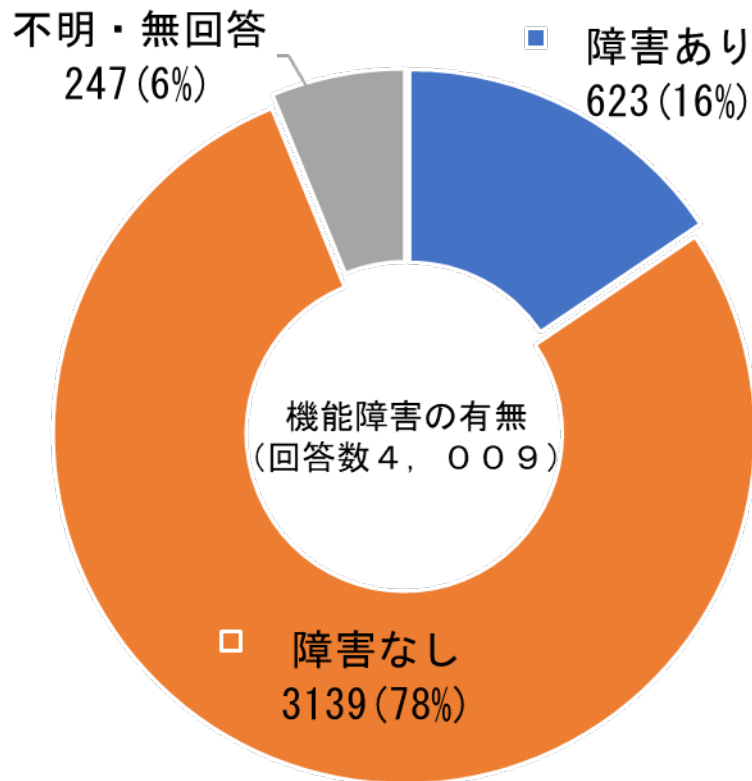
1. 大規模な自然災害では仮復旧までも数日かかり、本復旧までは数ヶ月がかかった
2. 受信アンテナに樹木がかかり受信障害が発生しているが、国有林のため伐採対応が難しく受信障害が続いている
3. 老朽化により伝送ケーブルが切断したが、資金不足により修理依頼ができず復旧までに半年かかった
4. 故障部品の在庫切れなど修理品の調達に時間がかかった
5. 広域に発生した自然災害（台風等）では、同時期に工業者の手配ができない又は工業者が多忙となり復旧までに時間を要した（工業者の都合になってしまった）
6. 施設の場所が、山奥や離島のため、中々直ぐに対応してもらえなかった
7. 故障原因や故障箇所の特定期間がかかってしまった
8. 光ファイバーが切断し復旧には専門作業が必要となり時間がかかった
9. 長期間の停電により復旧に時間がかかった（仮復旧の作業も電力会社や工業者の都合になっている）

- 復旧に要した時間は、1週間までが約8割を占めているが、1ヶ月以上に及ぶケースも一定数見受けられる。

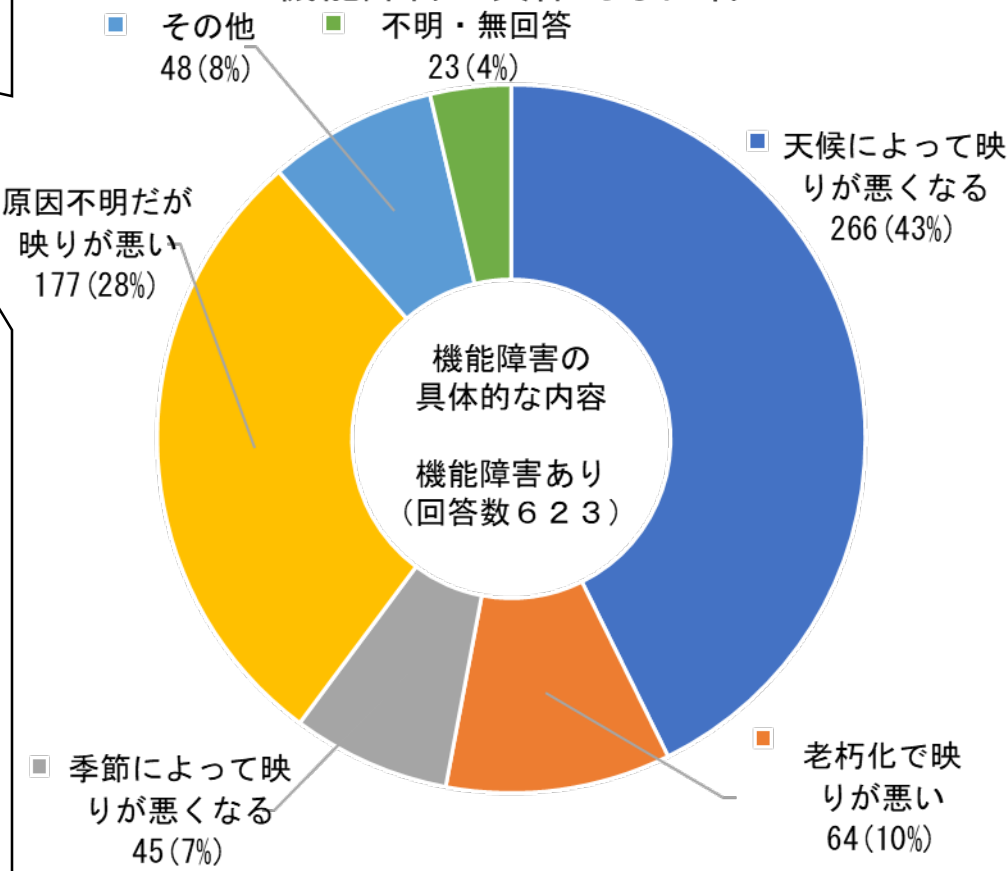
# 全国アンケート結果（13） 共聴施設の機能障害状況

## ● [質問11] 現在、共聴施設に機能障害が生じていますか？

### 機能障害の有無



### 機能障害の具体的な内容



● 現在も機能障害が起きていると申告された施設は全体の16%で、その多く（78%）は天候や季節、原因不明の理由で映りが悪くなり、また、老朽化を認識した機能障害が10%確認されている。



## 全国アンケート結果（14）共聴施設の地域事情

- [質問12] 共聴施設の維持管理・更新に関して、その地域ならではの事情がありますか？

回答の主な内容（回答数 約2,000施設）

1. 高齢化により組合員減少し、維持管理費の収入も減少し設備の維持そのものが難しい
2. 施設の受信点から集落、集落内も含めて伝送距離が長く、維持改修費が高額になる
3. 電柱の共架料、添架料も伝送路が長くなると経費負担も大きくなり課題である
4. 現状の設備維持が精一杯で、施設撤去も検討したが撤去費用も捻出できない
5. 施設設置から年月が経過し、樹木の成長により受信アンテナ設備に支障をきたし受信品質が不良又は不安定になっているが、山奥の樹木伐採費は高額で対応できない
6. 施設の維持管理、設備更新のための費用助成をお願いしたい
7. 組合運営の役員について担い手がいない
8. 近隣に設備のメンテナンス業者がいないため、故障時の復旧には時間がかかる
9. 自然災害により受信不良が発生したが、復旧するまでに補修費用や時間がかかった
10. 共聴施設を使わずに各家庭での個別受信によるテレビ視聴が望ましい

## 辺地共聴施設の現状調査 まとめ

1. 自主辺地共聴施設約8,600施設にアンケート調査を実施し、4,009施設から有用な回答が得られた。今回は、組合運営や設備利用状況など全体傾向を報告した。
2. 自主辺地共聴施設の世帯数構成は30世帯以下が約75%を占め、そのうち5世帯以下の施設が約20%を占めている。
3. 組合の経営状況では、年間収入は10万円未満が5割強と最も多く、支出は10万円未満が6割強と最も多い。
4. 施設更新のための積立ては、約4割の施設が行っている。
5. 施設更新について、3年以内を目処とする施設は1割であった。なお、意向なしとした施設の一部において、「更新の必要性は認識するも先送りしている」、「資金の目処が立たないため」などというコメントがあったことに留意が必要。
6. ケーブルテレビへの移行を希望する施設は約1割となっており、希望するとした施設に対して、ケーブルテレビ移行が許容される月額利用料を確認したところ、1,000円未満とする割合は37%、1,000円以上2,000円未満は24%であった。なお、アンケートへの回答は代表者が記入しているため、必ずしも組合の総意とは限らない点に留意が必要。
7. 現在、機能障害を抱えている施設は16%となっており、その内容は、天候に起因、原因不明とするものが多く、症状としては映りが悪いというものであった。
8. 自主辺地共聴施設における地域事情については、組合員の高齢化、故障復旧対応に時間がかかること、施設の維持管理や設備更新への費用助成など様々な意見が寄せられた。